



WOWOW 2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年10月31日

上場会社名 株式会社 WOWOW

上場取引所 東

コード番号 4839 URL <https://corporate.wowow.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 田中 晃

問合せ先責任者 (役職名) 人事総務局長 (氏名) 山口 基貴

TEL 03-4330-8080

四半期報告書提出予定日 2022年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト・記者向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	38,463	4.3	2,131	38.6	2,065	16.0	1,333	2.6
2022年3月期第2四半期	40,185	2.1	1,537	80.1	1,780	78.0	1,299	77.0

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 1,375百万円 (16.6%) 2022年3月期第2四半期 1,179百万円 (79.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	46.50	
2022年3月期第2四半期	48.04	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	92,942	66,684	71.7
2022年3月期	99,652	66,956	67.2

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 66,684百万円 2022年3月期 66,956百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		60.00	60.00
2023年3月期		0.00			
2023年3月期(予想)				50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2022年3月期期末配当金の内訳 普通配当 50円00銭 開局30周年記念配当 10円00銭

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	76,500	4.0	2,300	56.3	2,500	53.3	1,600	62.3	55.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	28,844,400 株	2022年3月期	28,844,400 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	138,363 株	2022年3月期	187,714 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	28,676,103 株	2022年3月期2Q	27,057,825 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、決算短信(添付資料)2ページ「経営成績に関する説明」及び3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	10
(1) 販売の状況	10
(2) 四半期個別業績情報 (参考)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の新規感染者が大幅に増えた状況になったものの、従来型の行動規制は行わないといった政府方針から、行動制限や水際対策は緩和され、経済活動は正常化に向かう動きを見せました。しかしながら、世界的な金融引き締めを背景とした海外景気の下振れ懸念や、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化、円安によるエネルギーや原材料価格の上昇等、依然として先行きは不透明な状況にあります。

このような経済環境下、当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、累計正味加入件数の減少に伴い会員収入(注)が減少したこと等により、売上高は384億63百万円と前年同期に比べ17億22百万円(△4.3%)の減収となりました。一方、費用面で、前年同期はサッカー等大型スポーツコンテンツの戦略的な投下を行ったため、当第2四半期連結累計期間における番組費が前年同期に比べ減少したこと等により、営業利益は21億31百万円と前年同期に比べ5億93百万円(38.6%)の増益、経常利益は20億65百万円と前年同期に比べ2億84百万円

(16.0%)の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は13億33百万円と前年同期に比べ33百万円(2.6%)の増益となりました。

(注) 第1四半期連結会計期間より当社グループの事業戦略と整合性をとることを目的に、従来「有料放送収入」としていた収益の名称を「会員収入」に変更しております。

<メディア・コンテンツ>

累計正味加入件数の減少に伴い会員収入が減少したこと等により、売上高は356億45百万円と前年同期に比べ16億82百万円(△4.5%)の減収となりました。一方、費用面で、前年同期はサッカー等大型スポーツコンテンツの戦略的な投下を行ったため、当第2四半期連結累計期間における番組費が前年同期に比べ減少したこと等により、セグメント利益は19億20百万円と前年同期に比べ8億59百万円(81.1%)の増益となりました。

また、当第2四半期連結累計期間の加入状況は次表のとおりとなりました。

(単位：件)

	第38期第2四半期	第39期第2四半期	対前年同期差	対前年同期増減率
新規加入件数	334,879	281,570	△53,309	△15.9%
解約件数	399,728	342,085	△57,643	△14.4%
正味加入件数	△64,849	△60,515	4,334	—
累計正味加入件数	2,726,622	2,619,896	△106,726	△3.9%
内) 複数契約(注)1	389,532	368,493	△21,039	△5.4%
内) 宿泊施設契約(注)2	77,110	79,694	2,584	3.4%

(注)1. 同一契約者による2契約目と3契約目については、月額2,530円(税込)の視聴料金を990円(税込)に割引しており、当該割引の対象となる契約を「複数契約」と呼称しております。

2. 宿泊施設の客室で視聴するための宿泊施設事業者との契約については、視聴料金を個別に定めており、当該契約を「宿泊施設契約」と呼称しております。

<テレマーケティング>

グループ内部売上が減少したこと等により、売上高は48億77百万円と前年同期に比べ1億円(△2.0%)の減収となりました。セグメント利益は売上高の減少に加え、外部顧客からの新規受注に係る初期コストがかさんだこと等により、2億10百万円と前年同期に比べ2億66百万円(△55.8%)の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(総資産)

第2四半期連結会計期間末における総資産は929億42百万円となり、前連結会計年度末に比べ67億10百万円の減少となりました。主な要因は、流動資産で現金及び預金、番組勘定が減少したことによるものです。

(負債)

負債は262億57百万円となり、前連結会計年度末に比べ64億38百万円の減少となりました。主な要因は、流動負債で買掛金及びその他が減少したことによるものです。

(純資産)

純資産は666億84百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億71百万円の減少となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上及び剰余金の配当によるものです。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ4.5ポイント上昇し、71.7%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）の期末残高は、前連結会計年度末に比べ10億24百万円減少し、263億8百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果得られた資金は15億66百万円（前年同期比1億14百万円減）となりました。主な増加要因は、棚卸資産の減少額48億43百万円、税金等調整前四半期純利益20億63百万円及び減価償却費18億5百万円の計上であり、主な減少要因は、仕入債務の減少額48億34百万円、その他の負債の減少額9億80百万円、為替差益6億11百万円及びその他の資産の増加額5億72百万円です。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果使用した資金は8億99百万円（前年同期比5億35百万円減）となりました。主な増加要因は、定期預金の払戻による収入37億6百万円であり、主な減少要因は、定期預金の預入による支出33億25百万円、有形固定資産の取得による支出8億10百万円及び無形固定資産の取得による支出5億8百万円です。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果使用した資金は17億28百万円（前年同期比4億53百万円減）となりました。主な要因は、配当金の支払額17億19百万円です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年5月13日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	30,742	29,911
売掛金	6,422	6,203
商品及び製品	8	3
番組勘定	26,838	21,985
仕掛品	16	25
貯蔵品	50	55
その他	2,931	3,363
貸倒引当金	△67	△63
流動資産合計	66,942	61,484
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,641	4,491
機械及び装置（純額）	5,227	4,768
工具、器具及び備品（純額）	2,225	2,007
建設仮勘定	91	25
その他（純額）	34	34
有形固定資産合計	12,221	11,327
無形固定資産		
借地権	5,011	5,011
その他	3,093	2,953
無形固定資産合計	8,105	7,964
投資その他の資産		
投資有価証券	9,088	9,163
繰延税金資産	2,213	2,047
その他	1,432	979
貸倒引当金	△351	△24
投資その他の資産合計	12,383	12,165
固定資産合計	32,710	31,457
資産合計	99,652	92,942

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	23,538	18,285
未払法人税等	380	538
引当金	56	71
その他	6,590	5,232
流動負債合計	30,566	24,127
固定負債		
退職給付に係る負債	2,026	2,042
その他	103	87
固定負債合計	2,130	2,130
負債合計	32,696	26,257
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	3,240	3,230
利益剰余金	58,538	58,152
自己株式	△312	△230
株主資本合計	66,467	66,153
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	345	334
繰延ヘッジ損益	111	164
退職給付に係る調整累計額	32	31
その他の包括利益累計額合計	489	530
純資産合計	66,956	66,684
負債純資産合計	99,652	92,942

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	40,185	38,463
売上原価	27,019	25,376
売上総利益	13,166	13,086
販売費及び一般管理費	11,628	10,955
営業利益	1,537	2,131
営業外収益		
受取利息	14	14
為替差益	52	—
持分法による投資利益	98	120
助成金収入	28	25
その他	90	37
営業外収益合計	283	198
営業外費用		
為替差損	—	228
その他	40	36
営業外費用合計	40	264
経常利益	1,780	2,065
特別利益		
固定資産売却益	—	0
特別利益合計	—	0
特別損失		
固定資産除却損	0	1
特別損失合計	0	1
税金等調整前四半期純利益	1,780	2,063
法人税、住民税及び事業税	369	551
法人税等調整額	110	179
法人税等合計	480	730
四半期純利益	1,299	1,333
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,299	1,333

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	1,299	1,333
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△123	△10
繰延ヘッジ損益	△4	33
退職給付に係る調整額	△0	△1
持分法適用会社に対する持分相当額	7	20
その他の包括利益合計	△120	41
四半期包括利益	1,179	1,375
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,179	1,375

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,780	2,063
減価償却費	1,642	1,805
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△59	△4
その他の引当金の増減額 (△は減少)	△88	14
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△0	13
受取利息及び受取配当金	△40	△41
為替差損益 (△は益)	△39	△611
持分法による投資損益 (△は益)	△39	△91
固定資産除却損	0	1
有形固定資産売却損益 (△は益)	—	△0
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,021	218
前受収益の増減額 (△は減少)	△16	14
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,480	4,843
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,323	△4,834
未払消費税等の増減額 (△は減少)	820	△198
その他の資産の増減額 (△は増加)	161	△572
その他の負債の増減額 (△は減少)	△1,194	△980
その他	—	13
小計	2,748	1,654
利息及び配当金の受取額	40	41
法人税等の支払額	△1,106	△129
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,681	1,566
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△3,384	△3,325
定期預金の払戻による収入	3,710	3,706
有形固定資産の取得による支出	△1,422	△810
有形固定資産の売却による収入	—	0
無形固定資産の取得による支出	△342	△508
関係会社株式の取得による支出	△0	—
貸付けによる支出	△0	—
貸付金の回収による収入	1	30
敷金及び保証金の差入による支出	△4	△0
敷金及び保証金の回収による収入	7	8
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,435	△899
財務活動によるキャッシュ・フロー		
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△19	△9
配当金の支払額	△2,163	△1,719
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,182	△1,728
現金及び現金同等物に係る換算差額	3	36
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,932	△1,024
現金及び現金同等物の期首残高	22,151	27,333
現金及び現金同等物の四半期末残高	20,219	26,308

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	メディア・ コンテンツ	テレマーケ ティング	計		
売上高					
外部顧客への売上高	35,632	2,830	38,463	—	38,463
セグメント間の内部売上高又は振替高	13	2,046	2,060	△2,060	—
計	35,645	4,877	40,523	△2,060	38,463
セグメント利益	1,920	210	2,131	—	2,131

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(1) 固定資産に係る重要な減損損失

該当事項はありません。

(2) のれんの金額の重要な変動

該当事項はありません。

(3) 重要な負ののれん発生益

該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) 販売の状況

当第2四半期連結累計期間における売上高実績をセグメントごとに示すと、次のとおりです。

セグメントの名称	売上高 (百万円)	対前年同四半期増減率 (%)
メディア・コンテンツ	35,632	△4.5
テレマーケティング	2,830	△1.3
合計	38,463	△4.3

- (注) 1. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。
 2. セグメント間の取引については相殺消去しております。
 3. メディア・コンテンツセグメントには会員収入31,922百万円を含んでおります。

(2) 四半期個別業績情報 (参考)

① 個別経営成績 (累計) ・個別財政状態

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	33,285	△4.9	1,615	133.2	1,929	72.4	1,357	49.0
2022年3月期第2四半期	35,000	0.8	692	△91.0	1,119	△86.2	910	△83.9

	総資産		純資産	
	百万円		百万円	
2023年3月期第2四半期	84,332		58,745	
2022年3月期	90,243		59,012	

(注) 個別経営成績 (累計) ・個別財政状態の数値は、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

② 2023年3月期の個別業績予想

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	66,700	△3.7	2,100	△51.8	1,400	△60.4	48.80

(注) 当四半期における業績予想の修正はありません。